

令和元年度 荒木精之記念文化功労者推薦書

推薦者氏名	伊藤 重剛
住所	〒861-8005 Tel 096-339-4722 熊本市北区龍田陳内 3-20-80

ふりがな	ふじかわ かずひろ
候補者氏名	富士川 一裕 昭和26年3月24日生（満68歳）
住所	〒860-0000 熊本市中央区京町 1-8-24 Tel 096-326-6611

業績の概要

熊本における草分けの民間都市計画家

富士川一裕氏は都市計画専門家として、熊本に民間の事務所を立ち上げた草分けである。業務としては、県下各市町村などの中長期の将来計画策定や、まちづくりの提案、そのための基礎調査などを行ってきた。

しかし会社の業務とは別に、建築の専門家や一般市民を巻き込んだまちづくり活動の仕掛け役として、「古町研究会」、「熊本まちなみトラスト」を自分自身で立ち上げ、以来主宰者あるいは事務局長として毎月1回の研究会を35年間継続し、実際に眼に見える形でその業績を残し、大きな社会的貢献をなした。

熊本の近代化遺産の保存・利活用の活動

氏の功績の第一は、熊本の明治以降の建築文化遺産の顕彰と保存利活用の活動である。例えば熊本市古町で保存が成ったPSオランジュリ（旧第一銀行熊本支店）、旧住友銀行熊本支店は、トラストの活動の結果以外の何者でもない。またトラストは熊本産業遺産研究会との共著で「熊本の近代化遺産」（2013年）を出版し、熊日出版文化賞を受賞している。これらの活動の中心人物として、富士川氏は常にリーダーを務めてきた。

熊本のまちづくりの活動

その第二は、熊本の旧城下町の新町古町を中心としたまちづくりの活動である。氏の企画による研究会、見学会、シンポジウム、署名運動など様々な啓発活動は数知れず、熊本のまちづくりへの優れた提言や提案は、県市の都市行政にも大きな影響を与えてきた。また2016年の熊本地震で被災した同地区の復興に対する氏の献身的努力は、清永本店やPSオランジュリなどへの、アメリカの財団からの支援をも誘い、取り壊しの可能性もあった同建物の保存につながり、大きな社会貢献を果たし、被災者からも大きな感謝を得ている。

推薦理由

以上述べたように、富士川氏の熊本のまちづくりに対する1986年からこれまでの35年の継続的活動の功績は、誠に顕著というほかない。これは40年にわたる「日本談義」の出版を通じて、熊本及び日本の歴史と伝統を継承し、将来に伝えていこうとした荒木精之の溢れる情熱と強い郷土愛に、相通ずるものがある。その意味で、富士川氏のこれまでの熊本の建築文化とまちづくりにおける精力的な活動とその顕著な業績は、自身の功績を誇らない立派な人格を含め、荒木精之賞に充分値するものとして推薦する。

略歴	1969	熊本県立熊本高等学校卒業
	1973	熊本大学工学部建築学科卒業
	1975	熊本大学大学院工学研究科修了建築学専攻（大学院修士課程）
	1975-85	都市問題経営研究所（大阪）勤務
	1986-94	高木富士川計画事務所代表取締役。同時に古町研究会を立ち上げる。
	1994～	人間都市研究所代表取締役 資格 一級建築士・技術士、認定都市プランナー

略歴

熊本市生まれの富士川氏は、熊本大学在学中、熊本に都市計画の専門事務所がないという危機感から、当時わが国唯一の大阪の再開発コンサルタント専門事務所にて10年間の修行期間を経て、35歳の時に郷里熊本で都市計画コンサルタント事務所を創設した。

主な活動履歴と業績

1986—1997年。

- 1) 事務所設立当初から、「古町研究会」を立ち上げ、熊本のまちづくりについて月例研究会を運営した。
- 2) 古町地区の歴史的建築について、建築学会、行政を巻き込んだシンポジウム、見学会を開催し、郷土熊本の未来のためには歴史的文化遺産が不可欠であることを広く世論に訴えた。
- 3) 食糧会館（明治41年）、長六橋（昭和2年、鉄骨アーチ橋）等の保存運動の実践。

1997—2016年。

- 1) **旧第一銀行熊本支店社屋を保存活用**する企業を探し、PSオランジュリとして再生を果たす。
- 2) 「古町研究会」を「熊本まちなみトラスト」と改称し、会を再編して組織強化した。
- 3) 月星化成熊本工場（明治29年）、**上熊本駅舎（昭和2年、現上熊本電停）**など、新町古町のみならず熊本市全体の歴史的建築の保存に奔走し、また新町古町の町屋調査とリノベーション再生も行なった。

2016年～現在。

- 1) 熊本地震により被災した建築文化遺産の救出に、日本イコモス国内委員会との連携協力した活動。
- 2) ニューヨークに本部をもつ**ワールド・モニュメント財団からの国際的支援**を取りつけ、清永本店、PSオランジュリ、の保存修理に貢献した。
- 3)、「被災文化遺産所有者等連絡協議会」を立ち上げ、建築保存の**特例的補助制度の創設**を実現した。
- 4) 熊本まちなみトラストを認定NPO法人として、発足させた。
- 5) **旧住友銀行熊本支店（昭和9年、古町）の保存。**

特筆すべき業績

本業の都市計画事務所としての業績においては、県産材活用の賞（波野神楽宛）や都市景観賞（银杏通り環境整備）、中心市街地活性化に対する功労賞（久留米商工会議所）、都市再開発「高山賞」を受ける。

社会貢献活動としての功績は、第一には**近代化遺産の顕彰と保存活用活動**、第二に、熊本における**まちづくり活動におけるパイオニア**の役割を果たしていることである。その実績が内閣府の目に止まり、2018年7月には**首相官邸で事例報告**を行なった。

富士川氏が中心となって保存した古町の建築遺産の例



旧住友銀行熊本支店



旧第一銀行熊本支店



清永本店（現在は保存修復中）